

は有用なことを考えますので、鳴らし方のルールなどを含め検討させていただき



▲市内に138箇所ある防災無線スピーカー

Q 市広報の中の「市長が行く」で水田などの保水力を利用した治水対策の話があったが、今後の大雨対策としての具体的な内容を伺いたい。

A 台風26号が去った後、すぐ台風27号が近づいているという情報を受け、何か出来ることは無いかと検討した結果、上流部での保水力を高める策が有効だと考えました。

今回浸水地域を見ると、一宮川水系



の氾濫が大きかったことから、長柄町長と長南町長に直接お会いし、雨が降る前にため池などからの放水をお願いいたしました。また、稲刈りが終わった水田の排水口を閉めていただくお願いもして回りました。

洪水対策の調節池が現在3つありますが、概算でその一つ分に匹敵する保水力が高められると思っており、今後の大雨対策としても継続していきたいと考えています。

茂原白子線の整備について

Q 茂原白子線の道路が拡幅されて、通行しやすくなったためか、スピードを出して通行する車が多い。この道路は子供たちの

通学路なので、安全な環境を作ってもらいたい。また、速度超過の取り締まり強化をお願いしたい。

A 主要地方道茂原白子線は、交通量が増えてきている道路だと認識しております。市といたしましては、管理者である千葉県（長生土木事務所）に対し、ドライバーが速度を注意してもらえような看板などの設置を要望していくとともに、子供たちが通学しやすい環境を作るために、道路わきの除草についても、引き続き要望してまいります。また、交通事故防止の観点から、茂原警察署に対し、取り締まりの強化を図っていただけるよう要望してまいります。

メガソーラー事業について

Q 事業地に発電パネルを7千枚以上敷設するという説明を受けたが、昨今の台風や大雨の状況を考えると、しっかりと雨水対策をしていただきたい。近くを通っている道路に流れ込むと、とても危険だと思われる。

通勤・通学の支障がないように、排水設備などを設置願いたい。

A メガソーラーの事業主に対し、しっかりとした排水計画を立案させ、現在進めているところです。計画の中では、切り土や盛り土をした箇所に樹脂などを吹き付け、土砂が流れ出さないような措置を行い、雨水対策としては、素掘りの調整池を造ることとなっております。

また、U字溝を新たに設置し、既存の排水溝へ接続させることで、道路等に雨水が流れ出ないような措置をするようになっております。

茂原市の人口増加策について



▲太陽光発電パネル（イメージ）

Q 茂原市の人口増加策について、どのような方策を持っているのか伺います。

A 市の人口は平成14年の約9万5千人を境に減少傾向にあり、民間の推計ですが平成32年には約8万7千人余となるような予測があります。

その為、市の後期基本計画は、人口減少を少しでも緩やかにするための計画を策定しており、また、市の若手職員によるプロジェクトチームを設置し、様々なアイデアも研究させております。